



静岡県勤労者協議会連合会

ホームページ <http://kinrokyo.net/shizuoka/>
Eメールアドレス shizuoka@kinrokyo.net

原水爆禁止静岡県民会議 2021年度定期総会を開催

原水爆禁止静岡県民会議定期総会が7月23日、午後1時30分より静岡市労働会館で開催されました。同会議は「原水爆禁止県民会議の2020年度経過報告並びに、2021年度の活動方針(案)」を討議すると共に、「8月5日の原水爆禁止広島大会、8月8日の原水爆禁止長崎大会」に参加する結団式。更に、『第24代高校生平和大使の任命式』を兼ねた集会となりました。



同総会で主催者を代表して挨拶した原水爆禁止県民会議代表委員の橋本勝六(社民フォーラム静岡)さんは、①人類史上初の核爆弾投下から76年、2021年1月22日、核兵器を「国際人道・人権法」に反する「非人道兵器」として核兵器の取り扱いを禁止する、『核兵器禁止条約』が発効しました。被爆者や核実験被害者、原水爆禁止運動、世界の反核運動が、長年に渡り追い求めてきた『核兵器廃絶』への歴史的一歩を踏み出し、核兵器廃絶という希望へ大きく前進しました。

②しかし、日本政府は原発の再稼働を進めようとしています。世界の流れに逆行する原発政策を止めなければなりません。同時に、原発や核兵器開発に伴う在外被爆者を含む「被爆者援護」の運動を強化していきましょう。

③原水爆禁止運動を担うために「第24代高校生平和大使」に応募された多くの高校生に心から感謝を申し上げます。「微力だけど無力ではない」とのスローガンに示されている様に、「明るい希望が持てる社会を実現するため」には高校生平和大使の皆さんの運動に心から期待をしています。同時に、大人である私たちは皆さんの運動を支えていく決意です。と、訴えました。

同会議では、連帯挨拶(渡邊敏明県平和センター会長)、経過報告、活動方針、役員選出、規約改正などが提案され、満場一致で可決されました。



その後、「第24代高校生平和大使」の任命式が行われ、下記の3名に任命証書が授与されました。第24代高校生平和大使の土屋陽和さんは、「平和を願う心は世界を動かす力」があること。そして、「ビキニ事件の歴史を知り、過去の教訓を生かすことが未来を切り拓くことにつながる」との立場で運動をすすめていきたい。と、抱負を述べました。

◆第 24 第高校生平和大使・2021 年長崎派遣代表



第 24 第高校生平和大使

氏名 土屋 陽和(つちや ひより)

高校名 不二聖心女子学院高校 3 年生

部活動 日本語演劇

意気込み アイディアを出すのが得意な自分の個性を生かし、アクティブに面白いと思ってもらえる活動がしたい、そして 1 人でも多くの人に平和への願いを自分事として考えてもらえるようにしたいと思います。



2021 年長崎派遣代表

氏名 川口 真奈(かわぐち まな)

高校名 静岡雙葉高校 1 年生

部活動 新聞部

意気込み コロナ禍の今だからこそできる事を追求し、今までの経験から培ってきた「発信する力」を活かして、平和活動に邁進し、世界をより良く変えていきます。



2021 年長崎派遣代表

氏名 日向 希明(ひなた のあ)

高校名 藤枝明誠高校 1 年生

部活動 チアリーディング部

意気込み 核廃絶に向けて全力で取り組み、後世に何を残すのか、きちんと現地の声をもとに見極め、本当に大切なことを伝えて行きたいです。

◆原水禁運動の出発点

「3・1 ビキニデー. 第 5 福竜丸」

今から 67 年前、第 5 福龍丸は 1954 年 3 月 1 日、アメリカのビキニ環礁で行われたアメリカ軍の水爆実験(広島に落とされた原爆の 1000 倍の威力)により発生した大量の放射性降下物を浴び遠洋マグロ漁船(焼津港に所属)です。第 5 福龍丸はアメリカ政府の指定した危険区域外で作業中であつたにもかかわらず、「死の灰」を浴び 23 人の乗組員全員が急性放射能症にかかり、無線長の久保山愛吉さん(当時 40 歳)は「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」と言い残してその年の 9 月に亡くなりました。

3・1 ビキニ事件は、日本国民に大きな衝撃を与えました。その結果、「全国から原水爆禁止の声」が巻き起こり、第 1 回原水爆禁止世界大会が開催されることになりました。その後、原水禁運動は「広島、長崎、静岡(焼津)」の 3 被災地を中心に「原爆だけでなく水爆の即時中止」という運動課題を担い活動を展開しています。更に、福島原発事故を踏まえ「福島集会」を開催するなど活動の輪を拡大するなど、多くの実績を残しています。

静岡県高校生平和大使の活動も「静岡の地から、第 5 福龍丸の被災を決して忘れない、原水禁の運動を継承する」との決意で活動を展開しています。毎年、3 月 1 日に開催されている「3・1 ビキニデー全国集会(主催、原水禁国民会議)」には高校生平和大使も参加して「メッセージ」を発信して、多くの共感を得ています。



◆被爆 76 周年原水爆禁止世界大会の意義

人類史上初の核爆弾投下から 76 年、2021 年 1 月 22 日、核兵器を「国際人道・人権法」に反する「非人道兵器」であるとして核兵器の取り扱いを禁止する、『核兵器禁止条約』が発効しました。

被爆者や核実験被害者、原水禁運動、世界の反核運動が、長年に渡り追い求めてきた『核兵器廃絶』への歴史的一歩を踏み出し、核兵器廃絶という希望へ大きく前進しました。

しかし、米ロ対立、米中対立、アジアへの中距離ミサイル配備の問題、イギリスの核弾道増強政策など、核兵器を巡る世界の状況は油断なりません。また、2020 年 4 月に開催予定だった核拡散防止条約(NPT)再検討会議は、世界的な感染拡大により複数回延期を繰り返し、2022 年開催が検討されています。

NPT 第 6 条には、核軍縮と全面完全軍縮への努力義務が定められており、核兵器廃絶を進めるために一定の効果があります。

そして、2021 年 3 月 11 日、東日本大震災・福島第 1 原発事故から 10 年が経過し、原発事故の「風化」が懸念されつつも、事故の収束は未だに見えないままです。一方、トリチウムを含む処理水は増え続け、4 月 13 日、政府は関係閣僚会議を開き「海洋放出」の方針を決定し、2 年後の 2023 年を目途に福島第 1 原発敷地内から放出に着手するとなりました。

(写真右：爆発した東京電力福島第一原発の衛星写真 2011.03.14 グリーンピースジャパン HP <https://www.greenpeace.org/japan/nature/story/2021/02/22/50167/>)



2021 年「被爆 76 周年原水爆禁止世界大会」は、原水禁運動の課題が山積する中で開催します。「人が集う」ことで感じられる空気感を大切にするとともに、各地からも参加できるようなオンライン併用での開催準備を進めていきます。

未だに、新型コロナウイルス感染症は収束の気配が見えず、参加規模を 2019 年よりも大幅に縮小します。参加者の「安心・安全」を第 1 に考え、これまでの開催方法・内容に捉われることなく、ゼロからの発想で組み立て、大会を開催します。

◆「高校生平和大使」とは

高校生平和大使派遣活動は、1998 年にインド、パキスタンが相次いで核実験を行い、これに危機感を感じた被爆者の皆さんが国連に核廃絶の声を届けようと高齢になられた被爆者に代わって高校生 2 名が米国・ニューヨークの国連本部に派遣され、高校生平和大使が始まりました。

第 3 代からは軍縮会議が始まるスイス・ジュネーブの国連欧州本部へ訪問先を変更し、市民の支えのもとこれまで 20 年に渡って毎年訪問を続けています。2013 年には外務省から第 1 号の「ユース非核大使」を委託され、2014 年から 3 年連続で各国の大使が集まる軍縮会議の場で民間人初となる演説を行ってきました。この間、高校生平和大使として活動した高校生は 250 人を超え、活動の幅は年々拡大しています。

静岡では 2012 年第 15 代高校生平和大使を送り出してから丁度 10 人目の平和大使を本年 5 月 23 日に選出しました。また、核兵器廃絶の訴えを聞き、静岡の地で活かして頂きたいと長崎派遣代表 2 名を送ってきました。この間、高校生平和大使への応募者は延べ 166 名あり 9 名の平和大使と 18 名の長崎派遣代表を選出してまいりました。日本全国から国連へ届けられた署名数は、延べ 200 万筆を超えることができました。

『微力だけど、無力ではない』

「ビリョクだけれど、ムリョクではない」と努力してきた高校生の力は、ひとつ 1 つ前進を勝ち取っています。「核兵器禁止条約」の成立に続き、ICAN がノーベル平和賞を受賞しました。高校生平和大使も『ノーベル平和賞候補』に数えられています

「核兵器禁止条約」が発効し核兵器廃絶へ大きな 1 歩を歩みだしました。各兵器のない平和な社会の実現まで頑張る決意です。高校生平和大使派遣運動にご支援とご協力をお願いします。

「高校生 1 万人署名活動」

2001 年 1 月、14 人の高校生によって核兵器の廃絶と平和な世界の実現を求める「高校生 1 万人署名活動」が始まりました。最初は 1 万人の署名を集めることを目標に名前に 1 万人という数字を入れることにしました。

活動が始まって間もない頃は認知度が低く、署名活動を禁止されるなど多くの壁がありましたが、初年度は目標を大きく上回る 28,000 人分の署名を集めることに成功しました。

現在、署名の累計数は 2,001,235 筆に上がり毎年、高校生平和の手によって国連に届けられ、国連で唯一認められた署名として認知されています。この間、2000 人以上の学生がこの活動に関わり、署名活動以外にも様々なプロジェクトを展開しながら、世界の核兵器廃絶の動きに貢献しています。

高校生平和大使派遣 10 周年記念集會も

同会議では、「高校生平和大使派遣 10 周年」を迎えることから記念集會を開催することとしました。具体的には下記の内容です。

- ◆実施体制 派遣委員会関係者・高校生で実行委員会を結成し、内容を詰め、実行する。
- ◆日 時 2022 年 1 月 22 日(土) 14 時～第 1 部 18 時～第 2 部
- ◆場 所 もくせい会館
- ◆内 容 記念講演会・レセプション

小山さとる市議 市議会本会議で質問に立つ

● 6月25日に議員としてデビュー

本年 3 月に実施された静岡市議会議員選挙で清水勤労協からの推薦を受けて当選した小山さとる市議(市政会・教職員組合出身)が「静岡市議会 6 月議会 6/25」の本会議で初めて質問にたち、市議会議員としてデビューとなりました。そこで、今回は小山市議に質問内容を含めたインタビューをしました。(聞き手：静岡県勤労協事務局長・秋山一)

秋山 小山市議が「6 月の静岡市議会」で質問に取り上げた内容を教えてください。

小山 清水区をとっても「桜ヶ丘病院の移転」や「清水区庁舎」「日の出再開発」等々の課題が山積しています。これらの課題も重要案件ですが、残念ながら「本会議での質問時間は僅か 20 分」という制限が付いています。従って、今回は教育行政に絞って質問をさせて頂きました。

秋山 教育行政に関する質問内容を聞かせてください。

小山 第 1 には、静岡市の今後の特別支援教育の方向性について「特別支援学級や通級指導教室」では、専門性の高い教職員が不足している現状をどのように考えているのか。第 2 と

して、「ICT 教育の充実について」、「GIGA スクール構想の進捗状況」、「通信環境の強化スケジュールと今後の小学校低学年への配置計画はどのようになっているか」

第3として、養護教諭の負担軽減の視点から、パート看護師の配置の現状について

「養護教諭の負担軽減のために、現状である制度ではパート看護師の配置拡大が必要である」ことの3項目を質問させて頂きました。

◆ 現在の特別支援学級の実情

高い専門性の教職員が不足しているので増員を。

現在、静岡市内の公立小中学校においては、特別支援学級の数や通級指導教室へ入級する児童生徒数が増加傾向にあります。例えば今年度は横内小学校、服織中学校などで特別支援学級が増設されています。学校基本調査の結果からも、静岡市全体としてこの傾向がうかがえます。

具体的には、2年前の令和元年度調査結果と今年度令和3年度調査の比較をしてみますと、特別支援学級数は、令和元年度は小学校125 中学校71の合わせて196でありました。これ

が今年度では、小学校144 中学校81 合わせて225 となっております。2年間で小中合わせて29学級が増えていることとなります。

これに対して、公立小中学校全体の児童生徒数は減少傾向にあります。全体の児童生徒数が減少している状況の中で、特別支援学級数が増加傾向にあるということは、特別支援を必要とする子どもの数が増えているということでもあります。

秋山 小山議員の質問に対して、当局からの回答はどうでしたか。

小山 当局からは、以下の旨の回答がありました。

①について

学校教育において障害のある子もない子も共に学び、平等にその子の才能を開花できる教育環境を2030年までにつくりあげたいと考えている。

このような教育環境を整えるために、「体制の充実」と「教員の資質向上」を図っていく。本市においても「インクルーシブ教育」の理念を具現化できる、特別支援教育を進めていく。

②について

「1人1台のPC端末の配置」については、今後は、3年度中に小学校3年生児童分の学習用端末と、指導者用端末整備を、4年度には小学校1、2年生分の学習用端末を導入する予定。また、「通信環境の整備」については、全ての学校で扱うデータを一か所に集約することによって生じる回線の詰まりを解消するため、令和3年度中にネットワーク工事を実施し、学校からインターネットにつなぐ回線数を増やし、データを分散化する。

③について

現在、養護教諭は、児童・生徒の健康の保持増進といった本来業務に加え、保健室登校の対応や修学旅行等の随伴、さらには新型コロナウイルス感染症に伴う衛生業務など、様々な業務を担っている状況であり、その負担軽減を図ることは重要。



令和2年度は、6名のパート看護師が市内93校に対し、延べ695回、時間にして3,300時間余の勤務を行い、養護教諭の負担軽減に努めている。

今後も、学校の要望を踏まえつつ、より効果的な配置や運用に努めていく。

● 今後は勤労協と連携して 「小山さとる市政報告会」の開催を検討中。

秋山 小山議員からの報告を頂きありがとうございます。教育行政も重要課題ですが、清水区には「他にも重要課題が山積」していますので、清水勤労協も応援しますので是非とも「小山さとる市政報告会」を開催することも検討して下さい。



小山 ご提案頂いた「小山さとる市政報告会」につきましては、是非とも「早期に開催ができる様に検討いたします」、「具体的には出身組合とも相談して、早急に具体化します」ので、是非ともご協力をお願いします。

秋山 小山議員、本日はご多忙中にも関わらずご協力を頂きありがとうございました。

(2021年7月2日 於：清水勤労協事務所)

各地区活動報告

☆掛川市勤労協

第69回定期大会開催

掛川勤労協は6月1日(日)、市内西南郷地域生涯学習センターにおいて、第69回定期大会を開催しました。

昨年から猛威を振るっているコロナウィルス感染下の中であり、昨年同様役員会総会の形をとり、少人数(18名)での大会となりました。

議長には鈴木征勝委員を選出し、堀内会長のあいさつの後、榛葉加津也参議院議員・小山前衆議院議員、労働団体・福祉団体のメッセージが披露されました。

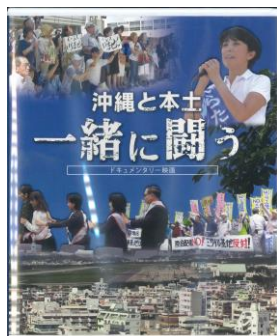


議事に入り、事業報告・一般会計報告・理容室決算報告、活動方針・予算案は満場一致で承認されました。

猛威を振るうコロナ禍であり、本来の活動の自粛を余儀なくされる中ではありますが、「明るく住みよいまちづくり」をモットーに活動を積極的に推進していきたいと思えます。

「沖縄と本土・一緒に戦う」DVD(60分)を上映しました。

(通信員 岡田三郎)



☆袋井市勤労協

第70回定期大会開催

第70回大会は、6月7日『白雲荘』において、代議員・役員・職員21名の出席により、三密回避・マスク着用等のコロナ対策を行い開催されました。

中島副会長の司会で開会、議長に鈴木委員を選出し、寺井会長の挨拶や大場袋井市長のメッセージを披露した後、議事に入りました。

最初に、2020年度の活動報告・決算報告・監査報告を承認した後2021年度活動方針を審議に入りました。

「理・美容事業を柱にGゴルフや歌声等を継続し、近年会員の高齢化により浮上した課題の改善を図り、会員の皆様にとって勤協が住みよいまちのシンボルになるよう努めていく。」旨の方針案が満場一致承認されました。

大会に続いてアトラクションで楽しい時間を過ごしました。

アトラクション ①歌声とトーク 講師 伊藤 修二さん (写真左)
②マジックショウ 鈴木 正明さん (写真右)

「大きな声で、皆さんと一緒に」



「あれくなんでもそうなんじゃないの？」種も仕掛けありません



第29回 GG大会 5月22日開催

朝まで残った雨のため、一時間遅らせて開会した大会でしたが、122名の参加者はぬかるみに苦戦しつつも元気にプレイできました。

今大会では、特別の「わくわくドキドキしま賞」が男女各3名に贈られました。

又、連絡網の不徹底から、一部にご迷惑をお掛けしましたが、無事開催できましたこと感謝申し上げます。

9月25日開催予定の「秋季大会」にお友達を誘ってご参加下さい。



